

# 木製エクステリア研究会活動報告

デザイン・工芸部 ○中村寿一  
木材工業部 日高富男  
大和木材(株) 吉崎和穂\*

## 1. はじめに

近年、輸入材及び輸入住宅の増加、住宅構造の多様化等により、県産スギ材の需要が伸び悩んでおり、新たな利用拡大を図ることが急務である。一方、ガーデニングの流行に見られるように、屋外での木材の利用は近年増加傾向にある。県産スギ材を利用した屋外用製品を開発することは、市場ニーズにもマッチしており、低迷している木材業界の建て直しにつながるものであるが、デザイン、耐久性、耐候性など研究すべき課題が多い。

木製エクステリア研究会においても諸課題に取り組んでおり、今回はその活動事例を報告する。

## 2. 木製エクステリア研究会の概要

本研究会は、鹿児島県工業技術センターの人材育成事業「ハイテック研究会」の1つとして、平成7年9月に発足した。県内の木製品製造業者を中心に、FRP製品製造業、都市環境デザイナー等の異業種の14企業で構成されている。この3年間に、15回の研究会を開催し、木製エクステリアに関する研究を重ねてきた。研究会メンバーを表1に示す。

表1 鹿児島木製エクステリア研究会メンバー

企業名	住所	業種
大和木材(株)	〒891-1105 日置郡郡山町郡山 6430	製材・フローリング製造業
(有)有元木材化工	〒893-1605 肝属郡串良町上小原 1888	薬剤注入木材・屋外木製品製造
藤田木材工業(株)	〒891-0115 鹿児島市東開町13-28	ログハウス製造・建材販売
山佐木材(株)	〒893-1206 肝属郡高山町前田 972	大断面集成材・室内家具製造・製材
岩崎産業(株)	〒891-0115 鹿児島市東開町 7番地	薬剤注入材・フローリング製造・建築材加工
(株)野元	〒899-5105 始良郡隼人町小田 630	製材・建材販売
つかさ工芸	〒899-4632 垂水市牛根麓 615	木竹工芸品製造
(有)道免家具店	〒891-0115 鹿児島市東開町13番地22号	家具製造
(株)和田木工所	〒899-4321 国分市広瀬二丁目 17-14	建具製造
ワイズ	〒892-0831 鹿児島市船津町 4-28	CGデザイナー
丹菜房	〒899-5431 始良郡始良町西餅田1571-2	クラフトデザイナー
(株)エコモ	〒895-0031 川内市勝目山口田 6314-1	FRP製品製造
インフラテック(株)	〒899-5652 始良郡始良町平松 3141-1	セメント製品製造
(株)南日パーク計画設計事務所	〒890-0063 鹿児島市鴨池1-36-16	都市環境デザイン設計

\*木製エクステリア研究会会長

### 3. 研究会活動事例

#### 3.1 開発計画

県中小企業団体中央会の平成9年度多角的連携組織開発支援事業において、木製エクステリア研究会が調査研究事業、製品開発事業ならびに成果普及事業を実施した。事業概要を図1に示す。

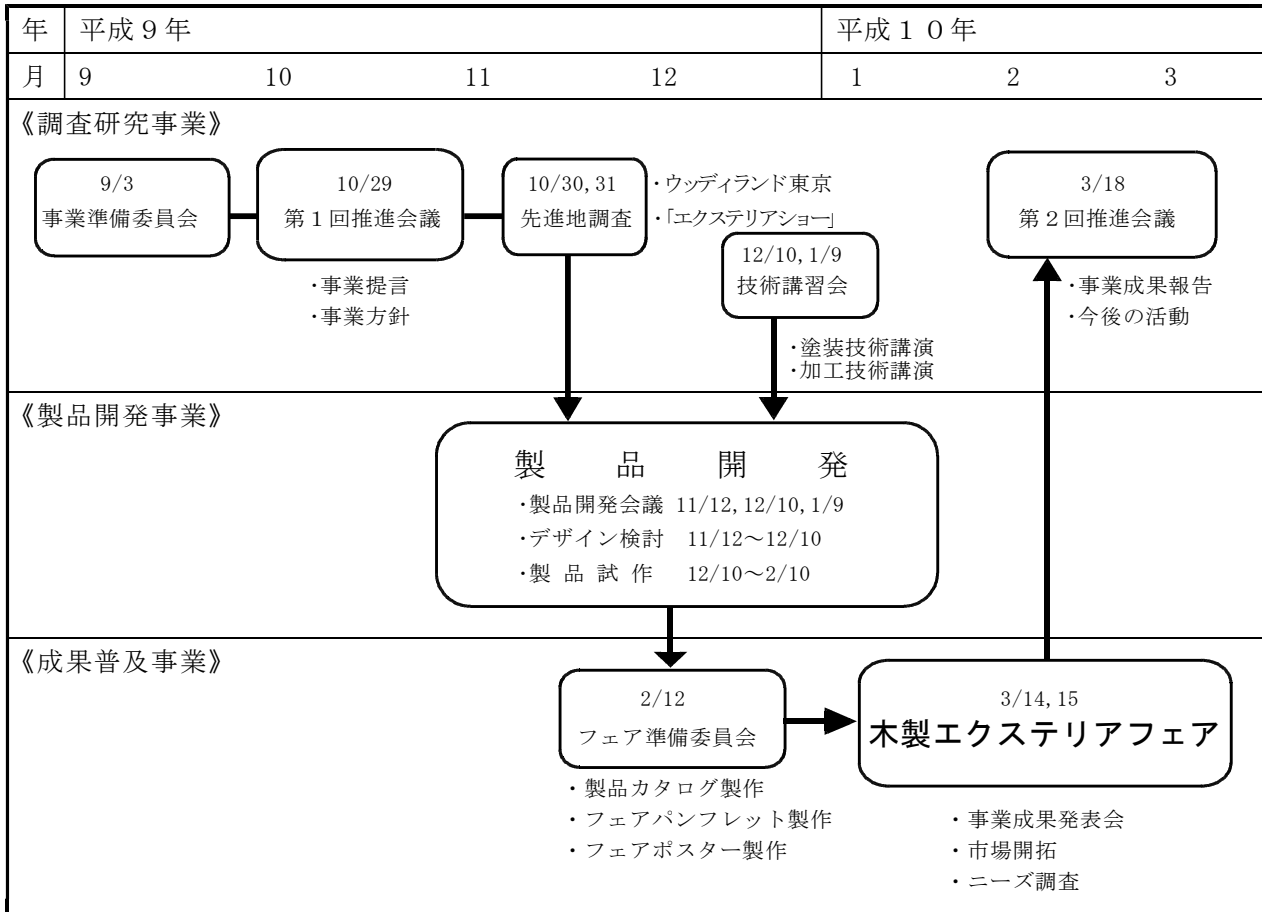


図1 多角的連携組織開発支援事業概要

#### 3.2 開発製品

今回の事業では、県産スギ材を利用した家庭用の木製エクステリア製品を開発した。製品開発コンセプトを表2に示す。また、開発製品を表3に示す。

表2 製品開発コンセプト

開発対象製品	・家庭のエクステリア（屋外）で用いられるあらゆる製品を対象にする。
対象ユーザー	・庭，バルコニー，屋上等のスペースのあるユーザー
材 料	・主に鹿児島県産スギ材を利用する。 ・異種材との組み合わせを積極的に行う。 ・人工乾燥材を使用する。 ・防腐，防虫効果を高めるために，薬剤注入材を使用する。
塗 装 技 術	・耐久性と意匠向上のために必ず保護塗料を使用する。 ・表面仕上げは，従来のナチュラル仕上げ以外に，ホワイトやグリーンなどの色を使用し，色の変化を付ける。 ・塗料は，浸透性塗料に加えて，ペンキ等のいんぺい塗装を行う。
デ ザ イ ン	・痛みやすい木口や水平面の，水はけが良い形状にする。 ・機能性を加えた製品を開発する。 ・ユーザー組立式の製品の開発。 ・メンテナンスが容易な構造，形状にする。

表3 開発製品

企業名	開発商品名	数
大和木材(株)	・池付きデッキ(3坪) ・水鉢付き花壇 ・テーブル ・ベンチ ・郵便受け	1セット 1台 1台 1台 2台
(有)有元木材化工	・ユーザー組立式デッキ ・パーゴラ付きベンチ	1セット 1セット
藤田木材(株)	・複合型デッキ(デザイン マツシタデザイン) ・プランター	1セット 2個
山佐木材(株)	・外灯 ・ウッディストボックス	1台 1棟
岩崎木材(株)	・木製デッキ(7坪) ・フェンス	1セット 1セット
(株)野元	・アウトドアライト	5台
つかさ工芸	・七輪付きテーブル90cm角 ・テーブル70cm角 ・背付きベンチ120cm幅 ・ベンチ90cm幅	1台 1台 2台 4台
(株)和田木工	・外灯 ・折り畳みスクリーン	3台 2台
(株)エコモ	・木製デッキ用水槽 ・水槽用木型 ・木型表面処理	2台 1台 1件
(株)南日パーク計画 設計事務所	・フェア会場レイアウト設計 ・フェアメインゲートデザイン設計 ・簡易フェンスデザイン設計	1件 1件 1件

#### 4. おわりに

平成9年度多角的連携組織開発支援事業において、鹿児島木製エクステリア研究会は、「家庭における木製エクステリア製品の開発」をテーマに、技術アドバイザーや推進委員の指導の元に各会員のもてる技術を駆使し、現代のガーデンライフに合わせた、消費者好みの「木製エクステリア製品」を数多く開発できた。また、「木製エクステリアフェア」を開催し、本事業で開発された木製エクステリア製品を展示し、事業の成果発表を行った。フェアには多数の来場者があり、県産スギを利用したエクステリア製品の啓発普及に努め、県産スギ材の需用拡大を図ることが出来た。消費者の意見を直接聞くことができ、多くの改良点や流通に関する諸問題等に大きな収穫を得た。

今後、今回の事業で得られた技術・技法を活かし、成果発表会で得られた消費者のニーズや推進会議、製品開発会議でのアドバイスを謙虚に受け止め、次の点の解決に向け努力することが肝要である。

- (1) 今回開発した県産スギ材を利用した木製エクステリア製品の、デザインや構造を今一度徹底分析し、耐久性や耐候性を向上させる技術の確立が必要である。
- (2) 研究会員による開発体制を確立し、相互の連携により、材料の標準化や互換性、あるいは、統一した性能基準を設ける。
- (3) 現代の生活様式と消費者ニーズの把握のため、市場動向調査を行い、常に製品開発を進め、研究会商品としてのブランド化を図る。
- (4) 個人的な注文生産から脱却し、いつでも消費者がほしい商品を手に入れることのできる販売体制を、確立することが必要である。